



第5章

岐阜市の文化



1 松尾芭蕉の句碑をめぐる

松尾芭蕉は、美濃を4度訪れている。そのうち、貞享5（1688）年には岐阜に滞在し連句を巻き「十八楼の記」を記し、「おもしろうてやがて悲しき鵜舟かな」などの句を残した。その後、蕉門十哲の一人であった各務支考は、芭蕉の志を受け継いで現在に続く獅子門（美濃派）を立ち上げて俳諧文化を美濃地方に深く浸透させていった。江戸時代から名勝地として知られていた長良川のほとりには、芭蕉が残した数々の足跡を見ることができる。



ぎふ長良川の鵜飼

おもしろうてやがて悲しき鵜舟かな

- 【**建立場所**】 湊町 ポケットパーク「名水」
 【**建立者**】 岐阜市
 【**建立年**】 昭和38（1963）年5月11日

長良橋南詰のポケットパーク「名水」にある句碑。鵜飼を詠んだ俳句として最も有名。華やかな鵜飼も鵜舟が去ると深い闇の世界になる。その静寂の中に松尾芭蕉は鵜の哀れ、生きるため魚を捕らねばならない人間の宿命を感じたのだろうか。以後、芭蕉は魚類をいっさい食べなかったといわれている。



このあたりめにみゆるものは皆涼し

- 【**建立場所**】 湊町 十八楼
 【**建立者**】 不明
 【**建立年**】 江戸後期と伝えられる

河畔のホテル内にある句碑。句は中川原新田の油商・賀島善右衛門邸にあった水楼から長良川を見渡し、その景色の美しさに感動して詠んだ。松尾芭蕉は「十八楼の記」に、中国の代表的景観である「瀟湘八景と西湖十景を合わせたほどの風情がこの水楼を渡る涼風（しょうふう）にあり」として、ここを「十八楼」と名付けたとされている。



城跡や古井の清水^{まづ}先とはむ

【建立場所】 大宮町 岐阜公園

【建 立 者】 岐山社中

【建 立 年】 明治31（1898）年7月

岐阜公園内の三重塔の近くにある句碑。松尾芭蕉が納涼に招いてくれた地元の庄屋・松橋喜三郎に対し、贈った句。松橋邸には、織田信長の城下町であった時代の古井戸があり、芭蕉はそこで草深い信長の城跡を想い、はるかな時の移り変わりを感じて詠んだ句といわれている。



夏きてもたゞひとつばの一葉哉

【建立場所】 ぎふ金華山ロープウェー山頂駅から岐阜城へ向かう山道の左脇

【建 立 者】 岐阜県俳句作家協会

【建 立 年】 昭和30（1955）年11月25日

金華山頂にある句碑。金華山に自生するヒトツバの可憐な姿に、旅人である松尾芭蕉自身の孤独な境地を託した句。夏になれば多くの植物が葉を茂らせるが、ヒトツバはシダの仲間で、1年を通じて1本の茎に1枚の葉しかつけない。

また、長良の法久寺には「夏来てもた、ひとつばの一葉かな」の句碑がある。



古池や蛙飛こむ水の音^{かはづ}

【建立場所】 北野北沖681 獅子庵

【建 立 者】 獅子門

【建 立 年】 天保14（1843）年3月

岐阜市北野にある獅子庵の北側にある句碑。隆盛をきわめた獅子門（美濃派）の句碑が並ぶ中にある。この句は、世界的にも知られたもので、俳句を象徴する作品としても知られている。実際に詠まれた場所は江戸深川にあった芭蕉庵で、貞享3（1686）年の春、芭蕉42歳のときの句と伝えられている。



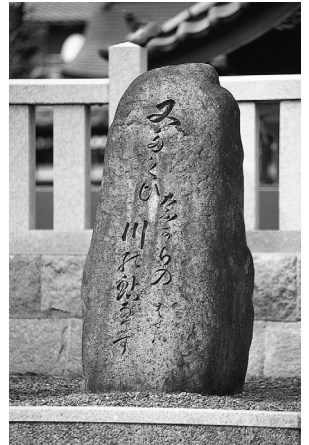
又（や）たぐひながらの川の鮎なます

【建立場所】 長良 神明神社

【建 立 者】 岐阜県知事 小崎利準

【建 立 年】 明治年間（1868～1912年）

長良橋北詰の神明神社にある句碑。この句は、夕闇が迫りくるひと時、松尾芭蕉が鵜飼に招かれ、門人たちと稲葉山の木蔭で鵜飼が始まるのを待っている席で詠んだ。「長良川でとれた鮎のなますは、これまた比類なくおいしいものだ」という意味の句（鮎のなますとは、鮎を細かく刻んで酢であえた料理のこと）。「や」を加えて字余りとすることで、珍味だという感嘆を表している。



水相似り三またの夏

【建立場所】 黒野三ツ又 地蔵寺跡

【建 立 者】 神山二春

【建 立 年】 元文元（1736）年

岐阜市北部・黒野三ツ又すんぼくの地蔵寺跡にある句碑。この句は、ここに在住する神山寸木らとの連句の座で詠まれたもので、「どこまでも武蔵野の月影涼し」という寸木の発句に付けられた脇句。建立者の神山二春とは、寸木の長男にあたる人物。



やどりせむあかぎの杖になる日まで

【建立場所】 梶川町 妙照寺

【建 立 者】 岐阜県俳句作家協会

【建 立 年】 昭和51（1976）年

岐阜市梶川町の妙照寺にある句碑。この句は貞享5（1688）年、松尾芭蕉が6月から7月にかけて岐阜に滞在した際に、あいさつとして後にこの寺の住職となる己百きひやくに贈ったといわれる。句は「庭のアカザの草が伸びて、旅の杖ほどになるまで長くあなたのお世話になりたい」という意味。



山かげや身をやしなはむ瓜ばたけ

【建立場所】 岐阜市伊奈波通 伊奈波神社

【建 立 者】 不明

【建 立 年】 安永6（1777）年10月12日

岐阜俳壇の中心人物であった安川落梧^{やすかわらくご}に案内されて伊奈波神社を訪れた帰り道、近くの浄土院で催された句会で詠まれた句といわれている。この句は「このあたりは山麓で涼しく、畑にはおいしそうな瓜も実をつけている。主人の好意に甘え、しばらくはここで旅の身を休めよう」という意味。



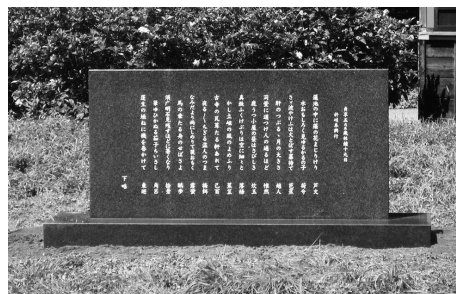
■芭蕉連句碑

【建立場所】 岐阜市堤外 岐阜公園川原町広場

【建 立 者】 岐阜県連句協会

【建 立 年】 平成27（2015）年8月

貞享5（1688）年、岐阜に滞在していた芭蕉を始め、岐阜の落梧^{らくご}、己百^{きひやく}、鷗歩^{おうほ}、関の惟然^{いぜん}や芦文^{ろぶん}、さらに名古屋の荷兮^{かけい}など15人で連句（五十韻）を卷いた。芭蕉の岐阜来訪を歓迎しての興行であった。なお、連句とは複数の連衆が会して、五七五の長句と七七の短句を交互に付け進め、一定の句数で一卷とする共同制作の座の文芸。現代の俳句は発句が独立したもの。



トピックス

その他の句碑

岐阜市にある句碑は長良川周辺を中心として点在している。松尾芭蕉以外にも山口誓子をはじめ、多くの俳人が岐阜の印象や風景を詠みつづっており、それらを巡ることで、歴史ロマンを感じることができる。

- | | |
|------------------|-------------------|
| ① 鶺鴒の川の迅さよ時の流れより | 山口誓子／岐阜公園内 |
| ② 夕焼のすでに紫鶺飼待つ | 山口誓子／岐阜市鶺飼観覧船事務所前 |
| ③ 天そるる金華の城や風光る | 大野万木／金華山山頂 |
| ④ 石見ゆる闇に鶺のかげ走りかけ | 近藤一鴻／長良雄総堤 |
| ⑤ 正史にはさありとも雁の涙落つ | 塩谷鶺平／御手洗池畔 |

①



②



③



④

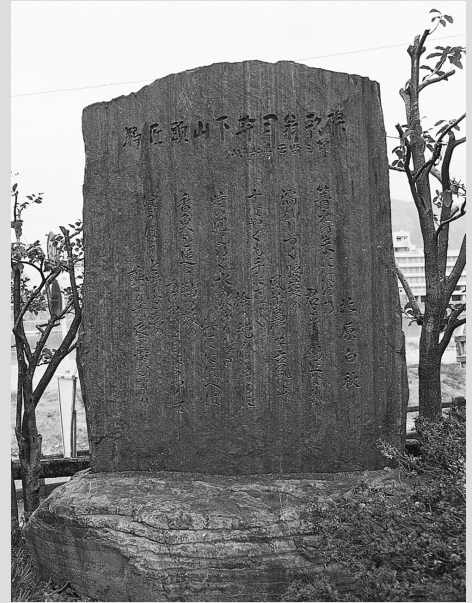


⑤



2 岐阜市ゆかりの文学碑

日本を代表する文学作品の中に、確かに息づく岐阜の匂い。
岐阜で生まれた森田草平^{もり た そうへい}と、重ねて岐阜を訪れていた川端康成^{かわばたやすなり}、
鵜飼の詩歌を残した北原白秋^{きたはらはくしゅう}は、それぞれ岐阜市ゆかりの文学
者として知られ、文学碑や歌碑も建てられている。



北原白秋歌碑／湊町ポケットパーク「名水」

森田草平生誕の地

森田草平は、夏目漱石の門下生で四天王といわれたうちの一人。岐阜市出身の文学者であり、明治42(1909)年に「煤煙」を朝日新聞に連載し、一躍人気作家となった。その後、自叙伝風の作品「初恋」や「輪廻^{りんね}」などを発表し、さらに作家としての声価を高めていった。岐阜市鷺山にある草平出生地の屋敷跡には、その業績をたたえた文学碑が建てられている。



川端康成文学碑

ノーベル文学賞受賞作家川端康成ゆかりの地として「川端康成文学碑」が建立された。康成は初恋の女性を追って3度岐阜を訪れている。結婚の約束から破局にいたるまでの一連の体験は後の川端文学に大きな影響を与えたことから、岐阜は川端文学の研究における要所として近年注目を浴びている。

また、康成の作品「篝火^{しんせい}」、「非常」、「新晴」、「南方の火」には岐阜市についての記述が出てくる。



3 岐阜市内の文化施設

岐阜市内にある文化施設は、美術館や科学館、資料館、図書館などどこも見どころがたくさん。芸術や歴史に触れ、教養や心を豊かにする機会がふんだんにある。発表会やコンサートができるホールも整備されており、市民の文化活動や憩いの場として親しまれている。



みんなの森 ギふメディアコスモス

岐阜県美術館

昭和57（1982）年に岐阜市の郊外の「県民文化の森」に開館した美術館。この美術館は、川合玉堂、^{まえだ せい}前田青邨、^{そん やまもと ほうすい}山本芳翠、^{くまがい もりかず}熊谷守一など、郷土と関わりの深い作家の作品を積極的に収蔵し、展示している。また、国際的な視野に立った美術品の収集活動もしており、なかでも250点をこえるオディロン・ルドンのコレクションは有名。そして、これらのコレクションや岐阜らしさを活かした独自の内容で、自主企画による展覧会も数多く開催されている。

令和元（2019）年、リニューアルオープンした。



^{さんこう}三甲美術館

ルノワール、シャガールなどの油絵や巨匠たちの彫塑、日本画、茶道具などのコレクションを収蔵展示。入場料には飲み物代も含まれており、芸術とお茶がゆったりと楽しめる。館内は、1階が企画展を行う第1展示室、常設展の第2展示室、日本画・茶道具・日本武具などが展示された第3・4展示室のほかに呈茶サービスが受けられる休憩所やミュージアムショップがある。中庭には沙羅双樹が立ち並ぶ日本庭園があり、2階は和紙彫塑・青磁などのコレクションが展示されている。



^{ちようそ}沙羅双樹 ^{せいじ}青磁などのコレクション

岐阜天文台

柳津町高桑にある天文台。この天文台のドームの中にはセミアポクロマート25cm屈折赤道儀という名の国産最大級の屈折天体望遠鏡がある。この他にも太陽観測に使用する望遠鏡や彗星^{すいせい}搜索用双眼鏡などの観測装置を保有し、観測研究が行われている。

毎月第1と第3土曜日に一般公開をしている。



岐阜県歴史資料館

岐阜県の行政・歴史に関する資料を収集・保存、整理・目録化して県民等に広く利用、研究していただくための施設。主な収蔵資料には、美濃を足場に天下統一に乗り出した織田信長の文書、幕府直轄領の状況を伝える飛騨郡代高山陣屋文書、明治時代以後の岐阜県の行政文書などがある。館ホームページには資料の目録が公開され、キーワードで資料を検索することができる。また資料は、事前に申請することで閲覧もできる。1階展示ホールには、織田信長の朱印状など主要な資料のレプリカが展示されており、1年に1回企画展示を開催している。



鏡岩水源地「水の資料館」

長良川の伏流水を、岐阜市の水道水の原水として市民に供給していた施設。昭和5（1930）年に、建築されたエンジン室とポンプ室は、平成13（2001）年に国の登録有形文化財に登録された。そのエンジン室は、平成14（2002）年に「水の資料館」として一般公開されている。



岐阜市科学館

自然、現象、技術、地球、宇宙の展示室とサイエンスショーができるスーパー理科室とプラネタリウム、天文台を備えた総合科学館で、動く展示、参加体験型の展示を通して楽しみながら科学の学習ができる。プラネタリウムやハイビジョンアドベンチャーシップでは、回答ボタンや回答プレートによるクイズなどの双方向的な演出を取り入れている。



ミツバチの家

岐阜市畜産センター公園敷地内にあり、みつばちの不思議な世界をわかりやすく展示している。実際のみつばちの巣や生態を紹介したパネル、養蜂器具が展示してあり、楽しくみつばちや養蜂業について勉強できる。

岐阜市の養蜂産業は、日本列島を南から北へ花を求めて移動する転地養蜂において、岐阜県が地理的中間地点に位置することや岐阜県の県花であるレンゲが多く、レンゲ蜜の一大産地であったことから、資材調達やミツバチ産品を扱う業者も多く、発展してきた。明治43（1910）年には第1回全国養蜂家大会が岐阜市で開催されるなど、岐阜は「近代養蜂発祥の地」といわれている。



岐阜県図書館

「県民文化の森」として、岐阜県美術館とともに総合文化施設を形成している。110万冊の蔵書を誇る図書館であり、県内のさまざまな情報を収集・発信する基地としても多くの県民に利用されている。美術館との一体感を重視した建物で、あわせて7つの屋外アート作品が設置されている。また、それを包むかのように「花の咲く木」「実のなる樹木」を含め約2万本の木が植えられている。美術館との間にあるコミュニティー道路も石畳の美しい道で、「文化の森」の名にふさわしい景観を創出している。



OKBふれあい会館（岐阜県県民ふれあい会館）

「さまざまな人と人とが交流・連帯・創造し、情報を発信する地域経営戦略の拠点施設」をコンセプトに、ふれあい交流、情報基地、文化、生涯学習・研修、行政サービス・相談の5つの機能を持った複合施設。だれもが利用できる県民サロンや県民広場を中心として、さまざまな情報を提供する情報サロン、パイプオルガンのある音楽専用のサランカホール、生涯学習センター、旅券センター、県行政関連団体のオフィスなどの施設がある。



岐阜市文化センター

コンサートやシンポジウムなどに利用される、定員2,000人の「催し広場」は、床面を利用した各種の催しスペースとなっている。また、舞台が必要ならどこにでも組立てができる仮設舞台が用意でき、天井には全面に照明・音響機器が取り付けられるようになっている。その他、定員500人の小劇場、展示室、会議室、音楽スタジオ、美術工芸室、和室等を備えた文化活動の拠点施設である。



岐阜市民会館

美江寺町にある、岐阜市民の文化施設。建築家・坂倉準三が手掛けた主要な建築作品のひとつである。1,501席の大ホールは、様々な文化団体による舞台芸術の発表や大会・式典などの会場として活用されている。また、展示ギャラリーでは、書・絵画・写真の作品展示会などが行われている。練習スタジオ、和室、会議室、多目的ルームもあり、多様な文化活動の拠点施設である。

令和4（2022）年、20世紀に竣工しオリジナルの建築的価値を残す「日本におけるモダン・ムーブメント建築」に選定された。



ドリームシアター岐阜

明徳町にあるドリームシアター岐阜は、「ふれあい・遊び・創造」をテーマにした施設で、子どもや親子を対象に様々なセミナー・イベントを開催している。4階・5階は、「子どものフロア」となっており、職員手作りの遊具や、クラフト活動、大道芸体験、楽器遊びなどが楽しめる。また、研究室やキッチンルーム、音楽スタジオなどを備え定員100人のメインホールはコンサートや発表会などの会場として活用されている。



みんなの森 ぎふメディアコスモス

岐阜大学医学部等跡地において事業展開している「つかさのまち夢プロジェクト」の第1期整備事業として建設された。

「知の拠点」の役割を担う岐阜市立中央図書館、「絆の拠点」となる市民活動交流センター、多文化交流プラザ、「文化の拠点」となる、みんなのギャラリー、みんなのホール等からなる複合文化施設。

世界的に著名な建築家・伊東豊雄氏による設計で、平成27（2015）年7月にオープンした。

岐阜市立中央図書館は、「子どもの声は未来の声」をモットーに、市民に寄り添う、身近な「滞在型の図書館」として、本で人とまちをつなぐ、屋根のついた公園のような図書館を目指している。

令和4（2022）年3月には、正面エントランス西側に、岐阜市の魅力を集めた情報拠点として「シビックプライドプレイス」（愛称：ぎふ古今）を開設。タブレット操作でオリジナルまち歩きマップが作れる「まち歩きステーション」や岐阜市の記憶を古地図と古写真で辿る「ぎふ歴史ギャラリー」が楽しめる。

他にも岐阜市を拠点にユニークな活動が続ける人々を過去の偉人と共に紹介する「岐阜な人カード」が並ぶなど、知らなかった岐阜の魅力を知る情報の“窓”として来館者に利用されている。

Library of the Year2022において、大賞を受賞した。



トピックス

旧岐阜県庁舎

大正13（1924）年に竣工し、昭和41（1966）年まで県庁として使用された。E型の鉄筋コンクリート3階建ての庁舎。豪華な正面の階段、飛騨のアルプスが図案化されているステンドグラスは、今もなお当時の輝きを失っていない。大垣市赤坂町の大理石が使用された玄関ホールには、二枚貝シカマイアなどの化石が見られる。いくたびか増築され、岐阜県総合庁舎となったが、耐震性が問題となり、平成26（2014）年3月モニュメントとして一部を残し取り壊された。



4 岐阜市のおもな文化財

岐阜市には数多くの文化財がある。数百年の時を超え、戦火をくぐり、天災をのがれてきた貴重な財産であり、次の世代へしっかりとつなげていかなければならない。



老洞 1 号窯跡出土品印文「美濃」と刻印須恵器

■国指定文化財一覧

(令和6年9月現在)

種別	名称	所在地	所有者・管理者
工芸（国宝）	金銅獅子唐草文鉢	長良雄総194-1	護国之寺
絵画	絹本着色斎藤道三像・斎藤義龍像	梶川町9	常在寺
//	裸婦図〈山本芳翠筆／油絵 麻布〉	宇佐4-1-22	岐阜県
//	絹本着色兜率天曼荼羅図	伊奈波通1-43	誓願寺
彫刻	木造薬師如来立像	岩井2-1-25	延算寺
//	木造千手観音坐像	溝口中138-1	慈恩寺
//	木造千手観音立像	鏡島中2-8-1	乙津寺
//	木造毘沙門天立像	//	//
//	木造韋駄天立像	//	//
//	乾漆十一面観音立像	美江寺町2-3	美江寺
//	木造釈迦如来坐像	三輪778-1	真長寺
//	木造毘沙門天立像	岩滝東3-421	岩滝山奉賛会
工芸	太刀 銘景依造	伊奈波通1-1	伊奈波神社
//	太刀 銘兼氏	(岐阜市内)	(個人所有)
書跡	寸松庵色紙(ふみわけて)	(岐阜市内)	(個人所有)
//	楽市楽座札附 織田信長百姓歸住制札	神田町6-24	円徳寺
考古	岐阜県老洞 1 号窯跡出土品	大宮町2-18-1	岐阜市
史跡	琴塚古墳	琴塚3-5-37	国、岐阜市ほか
//	老洞・朝倉須恵器窯跡	芥見6丁目及び諏訪山1丁目	岐阜市ほか
//	加納城跡	加納丸の内	国、岐阜市ほか
//	岐阜城跡	金華山、国有林ほか	国、岐阜市ほか
天然記念物	中将姫誓願ザクラ	大洞1-21-2	願成寺
有形民俗文化財	長良川鵜飼用具	(岐阜市内)	岐阜長良川鵜飼保存会
無形民俗文化財	長良川の鵜飼漁の技術	(岐阜市内)	岐阜長良川鵜飼保存会

■国選定文化財一覧

種別	名称	所在地	所有者・管理者
文化的景観	長良川中流域における岐阜の文化的景観	大宮町1ほか	国、岐阜市

■県指定文化財一覧

種別	名称	所在地	所有者・管理者
絵画	絹本着色涅槃図	小野598-1	正法寺
//	絹本着色涅槃図	//	//
//	絹本着色力八毘沙門天像	大洞1-21-2	願成寺
//	紙本水墨仙厓筆老子騎牛図	栗野2339	大龍寺

種 別	名 称	所在地	所有者・管理者
絵画	紙本水墨仙厓筆狗子仏性図 <small>し ほんすいぼくせんがいひつ ぐ し ぶつしょうず</small>	栗野2339	大龍寺
//	絹本着色当麻曼荼羅図 <small>けんほんちやくしよくたい ま まん だ ら ず</small>	西荘3-7-11	立政寺
//	絹本着色十一面観音像	//	//
//	絹本着色阿弥陀如来像	//	//
//	絹本着色善導大師像	//	//
//	絹本着色十三尊仏像	//	//
//	絹本着色五大力菩薩像 <small>けんほんちやくしよくご だいきき ぼ さつぞう</small>	//	//
//	絹本着色親鸞聖人御絵伝 附 紙本墨書蓮如裏書 <small>けんほんちやくしよくしんらんしょうにん ご えいでんつづたり し ほんぼくしよれんにようらがき</small>	西部本郷3-116-2	浄性寺他河野六カ寺組共有
//	紙本着色白隠筆白沢図・観音像 <small>し ほんちやくしよくはくいんひつぱくたく ず かんのおんぞう</small>	栗野2339	大龍寺
//	絹本着色親鸞聖人御影 <small>けんほんちやくしよくしんらんしょうにん み えい</small>	長森本町1-12-7	願養寺
//	絹本着色如覚上人像 <small>けんほんちやくしよくにょかくしょうにんぞう</small>	//	//
//	紙本着色鷹図六曲屏風 <small>し ほんちやくしよくたか ず ろっまふくびょう ぶ</small>	長良雄総194-1	護国之寺
//	絹本着色涅槃図	三輪778-1	真長寺
//	絹本着色文殊菩薩像	//	//
彫刻	木造金剛力士立像	大洞1-21-2	願成寺
//	木造四天王立像	栗野西8-175	済法寺
//	木造地藏菩薩立像	//	//
//	木造十一面観音立像	//	//
//	木造不動明王立像	//	//
//	木造阿弥陀如来立像	福富647-1	浄土寺
//	木造聖観音立像	//	//
//	木造十一面観音立像	大洞1-21-2	願成寺
//	木造阿弥陀如来坐像	//	//
//	木造大日如来坐像	//	//
//	木造阿弥陀如来立像	江崎南24-12	立江寺
//	石造狛犬 <small>せきぞうこまいぬ</small>	伊奈波通1-1	伊奈波神社
//	籠大仏 附 木造薬師如来坐像 <small>かごだいぶつつけりもくぞうやく し にょらい ぎ ぞう</small>	大仏町8	正法寺
//	木造阿弥陀如来坐像	//	//
//	木造釈迦如来坐像	城田寺1821	舎衛寺
//	塑造仏頭及び残欠 <small>そ ぞうぶつどうおよ ざんけつ</small>	長良雄総194-1	護国之寺
工芸	太刀 銘国宗 <small>た ち めいくにむね</small>	(岐阜市内)	(個人所有)
//	太刀 銘備前国長船住右近庄監保弘造 <small>た ち めい び ぜんのくにおさふねしゅう うえんしょうげんやすひろぞう</small>	(岐阜市内)	(個人所有)
//	短刀 銘信国 <small>たんとう めいのぶくに</small>	(岐阜市内)	(個人所有)
//	鰐口(銘 乾元二年) <small>わにぐち めい</small>	大洞1-21-2	願成寺
//	華瓶及び罽伽桶 <small>け びょうおよ あ か おけ</small>	//	//
//	太刀 銘助真作 <small>た ち めいすけまさく</small>	(岐阜市内)	(個人所有)
//	太刀 銘兼氏 <small>た ち めいかねうじ</small>	(岐阜市内)	(個人所有)
//	銅製鰐口(銘応永) <small>どうせいわにぐち めいおうえい</small>	(岐阜市内)	(個人所有)
//	銅製鰐口(銘文和) <small>どうせいわにぐち めいぶん な</small>	(岐阜市内)	(個人所有)
//	木造獅子頭 <small>もくぞう し し かしら</small>	伊奈波通1-1	伊奈波神社
//	木造獅子頭	日野北1-6-5	諏訪神社
//	刀 銘近江守 源 久道 <small>かたな めいおう み のかみかみし のひさみち</small>	御手洗393	岐阜護国神社
//	金銅割五鈎杆 <small>こんどうわり ご こしよ</small>	城田寺1821	舎衛寺
書跡	美濃国第三宮因幡社本縁起 <small>み の ごくたいさんぐうい な ぼ しゃほんえん ぎ</small>	伊奈波通1-1	伊奈波神社
//	念誦次第五種伝叡尊筆	大洞1-21-2	願成寺
典籍	春日版大般若経	//	//
考古	銅経筒 <small>どうきょうづつ</small>	大宮町2-18-1	岐阜市
建造物	延算寺本堂	岩井2-1-25	延算寺

種 別	名 称	所在地	所有者・管理者
建造物	八幡神社社殿	芥見2-93	八幡神社
//	日吉神社社殿	芥見2-93	日吉神社
//	岐阜別院本門	西野町3-1	本願寺岐阜別院
//	岐阜別院裏門	//	//
//	護国寺宝篋印塔	長良雄総194-1	護国之寺
史跡	智通光居墓	西荘3-7-11	立政寺
//	獅子庵	山県北野681	獅子門
//	宝曆治水工事義没者墓	岩崎3丁目15-1	霊松院
//	土岐成頼墓	寺町19	瑞龍寺
//	斎藤妙椿墓	//	//
//	悟溪国師墓	//	//
//	厚見寺跡	//	//
天然記念物	鏡岩	加野1762-1	(個人所有)
//	白山神社のスギ	福富2011-1	白山神社
//	大智寺の大ヒノキ	山県北野668-1	大智寺
//	浅見化石コレクション	長良梅子2972-2	浅見化石会館
有形民俗文化財	手漉美濃和紙製造用具	大宮町2-18-1	岐阜市
無形民俗文化財	手力雄神社火祭り	蔵前6-8-18	手力雄神社火祭奉賛会

■市指定文化財一覧

種 別	名 称	所在地	所有者・管理者
絵画	絹本着色豊臣秀吉像	大宮町2-18-1	岐阜市
//	絹本着色悟溪国師頂相	栗野2339	大龍寺
//	絹本着色瑞翁国師頂相	//	//
//	絹本着色快川国師頂相	//	//
//	紙本水墨白鷺蓮盧図	大宮町2-18-1	岐阜市
//	絹本着色阿弥陀如来像	江崎南24-12	立江寺
//	絹本着色勢至菩薩像	長良雄総194-1	護国之寺
//	絹本着色蓮台阿字	//	//
//	絹本着色阿弥陀如来像	//	//
//	絹本着色十三仏像	//	//
//	絹本着色釈迦十六善神像	//	//
//	絹本着色愛染明王像	//	//
//	絹本着色不動明王像	//	//
//	絹本着色両界曼荼羅図	//	//
//	絹本着色妙観智弥陀像	城田寺1821	舎衛寺
//	絹本着色悟溪宗頓像	山県北野668-1	大智寺
//	絹本着色玉浦宗珉像	//	//
//	絹本着色不動明王二童子像	下鵜飼1422-1	下鵜飼区
//	紙本着色斎藤妙椿像	寺町19	開善院
//	絹本着色亀姫像	加納奥平町1-22	盛徳寺
//	絹本着色亀姫像	加納西広江町2-28	光国寺
//	紙本墨画二起二睡図	大宮町2-18-1	岐阜市
//	絹本着色聖徳太子六臣像	西荘2-17-8	敬念寺
//	絹本着色十字名号	//	//
//	非情成仏絵巻	長良福光2403-1	崇福寺
//	紙本水墨白隠筆白衣観音像	岩井2-1-25	延算寺
//	板戸絵	//	//
//	絹本着色奥平信昌像	加納奥平町1-22	盛徳寺
//	絹本着色涅槃図	伊奈波通1-43	誓願寺

種 別	名 称	所在地	所有者・管理者
絵画	けんほんちやくしよくたい ま まん た ら す 絹本著色当麻曼荼羅図	伊奈波通1-43	誓願寺
//	けんほんちやくしよく と き しげよりぞう 絹本著色土岐成頼像	寺町19	瑞龍寺
//	けんほんちやくしよく こ けいそとんぞう 絹本著色悟溪宗頓像	//	//
//	絹本著色五大尊像	三輪778-1	真長寺
//	絹本著色釈迦十六善神像	//	//
//	絹本著色涅槃図	長良福光2403-1	崇福寺
//	絹本著色釈迦三尊十六羅漢図	//	//
//	けんほんちやくしよくさんじゅうばんしんぞう 絹本著色三十番神像	矢島町1-55	法華寺
//	けんほんちやくしよくじゅう に てんぞうつたりさんぶく すいてん ほんてん じてん 絹本著色十二天像附三幅(水天・梵天・地天)	大宮町2-18-1	真長寺
彫刻	木造延命地藏菩薩坐像	大門町23	慈恩寺
//	せきぞう ぐ ぜ かんのみりゅうぞう 石造救世観音立像	野一色8-18-3	白龍観音
//	もくぞうぞうぎょうしんぞう 木造僧形神像	蔵前6-8-22	手力雄神社
//	木造薬師如来坐像(薬師寺)	中屋西76	薬師寺
//	木造尼僧像(薬師寺)	//	//
//	木造芭蕉像	大門町23	慈恩寺
//	木造阿弥陀如来立像	島栄町3-43	真蔵寺
//	木造神像	三輪965	三輪神社
//	木造不動明王立像	大洞1-21-2	願成寺
//	木造弘法大師坐像	//	//
//	木造阿弥陀如来立像	(岐阜市内)	(個人所有)
//	木造閻魔王坐像	金華山	岐阜市
//	木造不動明王及二童子立像	長森岩戸944-99	弘峰寺
//	木造十一面観音坐像	柳津町高桑3-174	慈恩寺
//	しょうれん じ らん ま 正蓮寺の欄間	柳津町上佐波1-94	正連寺
//	もくぞうだいにちによらい ざ ぞう つたり き ふだ 木造大日如来坐像 付 木札	石原3-60-1	石原区
//	木造両頭愛染明王坐像	三田洞131	法華寺
//	木造阿弥陀如来立像	//	//
//	もくぞう あ み だ によらいりゅうぞうつたりかんれんもんじょ に つう 木造阿弥陀如来立像 附 関連文書二通	木造町10	蓮生寺
//	木造四天王立像	岩井2-1-25	延算寺
//	木造十一面観音立像	芥見2-91	真聖寺
//	木造釈迦如来坐像	伊奈波通1-8	安乗院
//	木造十一面観音立像	美江寺町2-3	美江寺
//	木造菩薩坐像	//	//
//	もくぞう ふ どうみょうおうはん か ぞう 木造不動明王半跏像	//	//
//	石造狛犬	茜部寺屋敷3-135	茜部神社
工芸品	たん ば やきちやいれ めい しば と 丹波焼茶入れ 銘 柴の戸	(岐阜市内)	(個人所有)
//	梵鐘	神田町6-24	円徳寺
//	つば 鐺	(岐阜市内)	(個人所有)
//	神酒壺	蔵前6-8-22	手力雄神社
//	美濃彫	(岐阜市内)	(個人所有)
//	ご とう は め ぬき 後藤派目貫	(岐阜市内)	(個人所有)
//	さんじゅうさんけんどうとうし や す こ つか 三十三間堂通矢図小柄	(岐阜市内)	(個人所有)
//	しょうじょうまいつるふたどころもの 松上舞鶴二所物	(岐阜市内)	(個人所有)
//	ぎんぱくおし え ぼ し なりかど 銀箔押烏帽子形兜	神田町6-24	円徳寺
//	かたな めい ふじわらとしたかさくせきじゅうかねさだどうさく 刀 銘 藤原利隆作関住兼定同作	大宮町2-18-1	岐阜市
//	かたな めい のうしゅう ぎ ふ じゅうかねますさく 刀 銘 濃州岐阜住兼舛作	//	//
//	しょうじょうめん 猩々面	美江寺町2-3	美江寺
//	木造獅子頭	//	//
書跡	きんぎんきりはくちらしりょう し ぼくしよ か しゅうだんかんまつ ば ぎれ 金銀切箔散料紙墨書歌集断翰松葉切(ないかしの)	(岐阜市内)	(個人所有)
//	きんぎんきりはくちらしりょう し ぼくしよ か しゅうだんかんまつ ば ぎれ 金銀切箔散料紙墨書歌集断翰松葉切(松すきの)	(岐阜市内)	(個人所有)

種 別	名 称	所在地	所有者・管理者
書跡	せんぶくじ もんじょ 専福寺文書	加納新町47	専福寺
//	ほんがんじ けんにょしょうそく 本願寺顕如消息	神田町6-24	円徳寺
//	かいせんこくし ぼくせき 快川国師書跡	栗野2339	大龍寺
//	うすすみ りんじ 淡墨の論旨	西荘3-7-11	立政寺
//	ほんじまつじしやうきようそうしゅうぐつうさだめおくことちつうひつ 本寺末寺聖教僧衆弘通定置事智通筆	//	//
//	松尾芭蕉筆 城跡や	(岐阜市内)	(個人所有)
//	禁制 禁札	東川手1-7	正福寺
//	紙本墨書頌銘 白隠筆	福富1072	少林寺
//	しゃえいじ えんぎ 舎衛寺縁起	城田寺1821	舎衛寺
//	護国之寺縁起	長良雄総194-1	護国之寺
典籍	大般若経	太郎丸597-1	上諏訪神社
//	//	長良雄総194-1	護国之寺
//	りやうかいねんじゆし だい 両界念誦次第	城田寺1821	舎衛寺
考古資料	須恵器	(岐阜市内)	(個人所有)
//	龍門寺古墳出土品 1号墳	大宮町2-18-1	岐阜市
//	龍門寺古墳出土品 12号墳	//	//
//	龍門寺古墳出土品 13号墳	//	//
//	龍門寺古墳出土品 14号墳	//	//
//	龍門寺古墳出土品 15号墳	//	//
//	史跡岐阜城跡(織田信長居館跡)出土金箔飾り瓦	//	//
//	椿洞第1古墳群2号墳出土主頭大刀	//	//
歴史資料	稲葉城趾之図	伊奈波通1-1	伊奈波神社
//	丸窓電車(モ513号車)	橋本町1-15	岐阜市
建造物	三輪神社社殿	三輪965	三輪神社
//	三輪神社石鳥居	//	//
//	ぎふべついでんまうぞう 岐阜別院経蔵	西野町3-1	本願寺岐阜別院
//	護国之寺楼門	長良雄総194-1	護国之寺
//	護国之寺奥之院	//	//
//	延算寺鐘楼	岩井2-1-25	延算寺
//	名和昆虫研究所記念昆虫館	大宮町2-18	名和昆虫研究所
//	妙照寺本堂	梶川町14	妙照寺
//	みょうしょうじく 妙照寺庫裡	//	//
//	正法寺大仏殿	大仏町8	正法寺
史跡	道三塚	長良福光2495	岐阜市
//	土岐政房墓	茜部寺屋敷	(個人)
//	成就院跡	//	(個人)
//	黒野城跡	黒野298	岐阜市
//	織田信長父子廟	長良福光2403-1	崇福寺
//	切通陣屋跡	切通	(個人)
//	奥平信昌夫妻墓	加納奥平町1-22	盛徳寺
//	隠山円照禅師墓	寺町19	瑞龍寺
//	伝織田塚改葬地	神田町6-24	円徳寺
//	かぶちのみことつか 賀夫良命塚	金町5-3	金神社
//	みそのうのみ 御園の榎	若宮町1-8	岐阜市
//	森田草平生誕の地	鷺山390-1	岐阜市
//	鎧塚古墳	栗野西	(個人)
//	岩崎1号墳	岩崎宇山手	(個人)
//	日野1号墳	日野東1丁目	(個人)
//	石谷1号墳	石谷字北山610-3	八幡神社
//	正法寺跡	薬師町25	正福寺
//	智照院古墳	岩田西3-476	智照院

種 別	名 称	所在地	所有者・管理者
史跡	西山4号墳	長良六本松	(個人)
//	はたつなまつみあと 畑繁堤跡	柳津町丸野2-173	畑繁堤跡保存会
//	上城田寺第4古墳群	城田寺字大平	(個人)
//	瑞龍寺山頂遺跡	上加納山4700-1ほか	国ほか
//	織田塚	霞町18	岐阜市
//	のりたけ わ じゅうあと しょうどのつみあと 則武輪中跡・尉殿堤跡	則武565-1ほか	天神社
//	長山城跡	大洞緑山1丁目6106番地1,2	芳野神社
名勝	真長寺の石庭	三輪778-1	真長寺
//	法華寺庭園	三田洞131	法華寺
天然記念物	三輪神社のスギ	三輪965	三輪神社
//	真性寺のサルスベリ	長良129-1	真性寺
//	円龍寺の大イチョウ	大門町18	円龍寺
//	延算寺のヤマモモ	岩井2-1-25	延算寺
//	次木のツバキ	次木	(個人)
//	次木の藤九郎ギンナン	次木	(個人)
//	上宮寺の大イチョウ	大門町12	上宮寺
//	日置江のモミジ	日置江	(個人)
//	古津のサザンカ	長良吉津	(個人)
//	三田洞弘法のボダイジュ	三田洞131	法華寺
//	福満寺のサルスベリ	石谷478	福満寺
//	しんしょうじ 真聖寺のサザンカ	芥見2-91	真聖寺
//	高桑のムクノキ	柳津町高桑1丁目167	神明神社
//	天満神社のシイ	福富2137	天満神社
//	大洞のシデコブシ群落	大洞緑山	岐阜市
//	深坂神社のスギ	洞726	深坂神社
//	岩滝のヤマモモ	岩滝東	(個人)
//	延算寺のコバノミツバツツジ群落	岩井2-1-25	延算寺
//	大洞のコバノミツバツツジ群落	大洞2-324	岐阜市
有形民俗文化財	山車	伊奈波通1-1	伊奈波神社
//	山車	加納天神町4-1	加納天満宮
//	木造町神輿	木造町49	木造町東西自治会
無形民俗文化財	三輪神社稚児山の芸能	三輪965	三輪まつり保存会
//	高桑太鼓	柳津町高桑2丁目156	高桑太鼓保存会
//	し し もんしょうしきはいかい 獅子門正式俳詣	山県北野681 獅子庵	獅子門
//	鵜匠家に伝承する鮎鮎製造技術	長良	岐阜長良川鵜飼保存会
//	長良川鵜飼観覧船造船技術	湊町391	(個人)
//	長良川鵜飼観覧船操船技術	湊町1-2	長良川鵜飼観覧船操船技術保存継承会
//	鵜飼装束(藁製品)製作技術	長良	岐阜長良川鵜飼保存会
//	伊奈波神社祭礼に伴う岐阜まつり行事	伊奈波通1-1	伊奈波神社、岐阜まつり宮実行委員会

■国登録文化財一覧

種 別	名 称	所在地	所有者・管理者
建造物	名和昆虫博物館	千畳敷大道西308-1	名和昆虫研究所
//	鏡岩水源地旧エンジン室	鏡岩408-2米麁谷1-2	岐阜市上下水道事業部
//	鏡岩水源地旧ポンプ室	鏡岩408-2米麁谷1-1~2	岐阜市都市建設部
//	岐阜公園三重塔	槻谷13-2	岐阜市
//	葛西家住宅主屋	敷島町	(個人)
//	葛西家住宅長屋門	敷島町	(個人)
//	震災記念堂	若宮町	(個人)
//	旧松喜仏壇店店舗兼主屋	白木町	(個人)
//	旧櫻井銘木店店舗兼住宅	元浜町	(個人)
//	旧櫻井銘木店土蔵	元浜町	(個人)
//	空穂屋店舗兼主屋	靱屋町	(個人)

種 別	名 称	所在地	所有者・管理者
建造物	空穂屋土蔵	靱屋町	(個人)
//	<small>ほうせきあん</small> 抱石庵(久松真一記念館)	長良福光	(個人)
//	藤田家住宅主屋	東材木町	(個人)
//	藤田家住宅土蔵	東材木町	(個人)
//	旧青木家住宅(エグゼクス・ガーデン)表門	日置江	サン・ワード(株)
//	市原家住宅主屋	古市場	(個人)
//	市原家住宅長屋門	古市場	(個人)
//	後藤家住宅主屋	芥見	(個人)
//	後藤家住宅離れ	芥見	(個人)
//	後藤家住宅旧郵便局舎	芥見	(個人)
//	後藤家住宅土蔵	芥見	(個人)
//	後藤家住宅門	芥見	(個人)
//	後藤家住宅地蔵覆屋	芥見	(個人)
//	真龍寺本堂	長良2509-1	真龍寺
//	真龍寺玄関及び茶室	長良2509-1	真龍寺
//	真龍寺鐘楼	長良2509-1	真龍寺
//	真龍寺山門	長良2509-1	真龍寺
//	岡本家住宅茶室	金屋町	(個人)
//	岡本家住宅待合	金屋町	(個人)
民俗	岐阜提灯の製作道具及び製品	大宮町2-18-1	岐阜市